

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 Hospital Drug Formulary 導入が臨床指標に及ぼす影響および医療経済効果</p> <p>●研究の対象 2005年1月から2025年12月までの期間に浜松医科大学医学部附属病院を外来受診または入院したすべての方</p> <p>●研究の目的 当院では、患者様に安全かつ質が高い、国の医療経済を考慮した薬物治療を提供するために、いくつかの治療域において病院フォーミュラリーという薬剤選択の参考資料および有用情報を作成しております。海外では一般的に作成されているこのフォーミュラリーですが、日本ではまだ浸透していません。そこで本研究は、当院にて作成した病院フォーミュラリーによる臨床指標、薬効、副作用発現および薬剤処方量、薬剤費、入院費用・医療費の変化を検証することにより、病院フォーミュラリーの臨床への有用性を評価することを目的とします。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から2026年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、薬剤処方歴、病歴、検査歴、各種細菌培養検査により検出された細菌情報など</p>
<p>《利用する者》</p>	<p>●機関名および責任者名</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>の範囲》</p>	<p>浜松医科大学 薬剤部 副薬剤部長 八木 達也</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 薬剤部 副薬剤部長 八木 達也</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 薬剤部 担当者： 八木 達也 TEL： 053-435-2767 E-mail： yagi5922@hama-med.ac.jp</p>